

日本郵便株式会社北海道支社より感謝状

石川 孝織*

2024（令和6）年8月26日、札幌パークホテルで開催された日本郵便株式会社北海道支社表彰式典にて、当館は浄土英二支社長より感謝状を受領しました。これは風景印・小型印のデザイン（原案）提供、オリジナルフレーム切手の制作協力、また郵便局内での博物館サテライト展示の開催など、これまで16年間にわたる釧路市内・釧路管内の郵便局と当館の協働に対するものです。



受賞後、当館友の会理事でもある、釧路桜ヶ岡郵便局の前川英樹局長からは、「郵便局の歴史と文化に寄り添って活動を重ねてきた釧路市立博物館さんに感謝状を贈呈することができ、長年関わってきたものとして望外の喜びです。館長・すべての学芸員のみなさま、そしてそれを支えてきた友の会のみなさまに心より感謝申し上げます。」とのコメントをいただきました。

博物館としても、風景印・小型印・フレーム切手を通じて、研究成果や地域の自然や歴史を広く発信、また郵便局

での展示では、より市民の身近な場所でお伝えできることなど多くの成果が得られており、また釧路市と日本郵便株式会社釧路市内郵便局は包括的連携協定を締結していることから、今後も郵便局との協働を継続・発展できればと考えています。なお今年11月30日から、企画展「釧路の郵便150年」を予定しています。

【これまでのとり組み（消印・切手）】

風景印 9局	釧路新富士 2017.2 釧路武佐 2017.8 釧路愛国・布伏内 2018.1 イオンモール釧路昭和内・釧路住吉 2020.4 美留和 2023.9 釧路桜ヶ岡・釧路桜ヶ岡五 2024.8
小型印 69局	北海道遺産「北海道の簡易軌道」3局 2018.2 雄別炭鉱閉山50年 1局 2019.2 美留和駅・川湯温泉駅開業90周年 2局 2020.8 SL冬の湿原号2021 3局 2021.1 根室本線 釧路～白糠開通120年 10局 2022.7 花咲線（根室本線）全通100年 20局 2022.8 釧網本線 全通90年 22局 2022.9 雄別炭鉱鉄道 開業100年 4局 2023.8 国鉄白糠線 廃止40年 4局 2023.10
オリジナル フレーム 切手 15シート	いのちをつなぐ「釧路の動物たち」 2016.8 釧路地域の開拓を支えた簡易軌道 2017.2 釧路を走る国内唯一の炭鉱鉄道 2017.8 海と川を旅する 釧路からはじまるいのち 2017.9 釧路・根室の簡易軌道 2019.2 さよなら、石炭列車 2019.12 雄別炭鉱閉山50年 2020.11 SL冬の湿原号2021 2021.1 根室本線走るキハ40・キハ283 2021.7 根室本線を走った車両たち～国鉄時代～ 2021.8 釧網本線全通90周年 湿原と火山と 2021.9 悠久の時を超えて～くしろ市誕生100年～ 2022.8 釧路 春採湖の花～湖畔を彩る可憐な野草たち～ 2022.9 雄別炭鉱鉄道 開業100周年 2023.8 釧路 春採湖の野鳥～シマエナガと仲間たち～ 2023.9

開館40周年記念・常設展示室マリモ展示のリニューアル

加藤ゆき恵*

釧路市立博物館は鶴ヶ岱公園から現在の場所に1983（昭和58）年11月3日に移転し、2023（令和5）年11月3日に開館40周年を迎えました。開館40周年事業として、イオン北海道株式会社の「くしろWAON寄付金」を用いて、常設展示室のマリモ展示をリニューアルしました。

阿寒湖のマリモは国の特別天然記念物で、博物館では常設展示室1階に水槽を設置し、展示を行ってきました。今回のリニューアルでは大型の水槽を中央に配置し、両側にマリモについての解説、釧路市教育委員会マリモ研究室のInstagramの紹介、イオン北海道株式会社からの寄付であることの紹介をパネルで設置しています。パネル内で多言語表記することが難しいため、英語・中国語（簡体・繁体）・韓国語のマリモの解説を博物館ウェブサイトに掲載し、パネルに掲載したQRコードでアクセスしてもらうようにしました。

開館40周年当日の11月3日には「阿寒湖のマリモ～むか

*釧路市立博物館

しといまのはなし」と題した講演会を開催し、マリモ研究室の尾山洋一学芸員にマリモの最新研究と今後の展開についてお話しいただき、博物館の加藤が阿寒湖のマリモ発見・命名者川上瀧彌について紹介しました。また、リニューアル記念ミニ展示も行い、川上瀧彌関連資料や、マリモ研究室所蔵の直径30cm程のマリモの乾燥標本を1か月間展示しました。

地元の小中学生の郷土学習の題材として、釧路の観光資源として、展示を活用してまいります。



リニューアル後のマリモ常設展示



講演会「阿寒湖のマリモ～むかしといまのはなし」